# 令和7年度放課後等デイサービス 職員向け評価アンケート 実施報告

### 1. 実施概要

 実施事業者/事業所:
 株式会社Kaien ティーンズ湾の口実施期間:
 令和7年10月1日~10月31日

 回答者:
 放課後等デイサービススタッフ

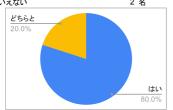
 回答者数:
 10 名

 回答率:
 100.0 %

# 2. 回答結果

# ①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

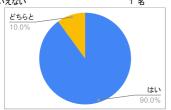
はい 8名 いいえ 0名 どちらともいえない 2名



※①に関して改善目標、工夫している点など

# ②職員の配置数は適切であるか

はい 9名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名



※②に関して改善目標、工夫している点など

# ③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名

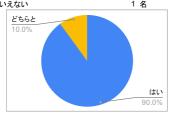


※③に関して改善目標、工夫している点など

たまたま元介護施設だった場所を使っているので他の事業所以上にバリアフリー化がされている。

# ④業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

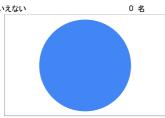
はい 9名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名



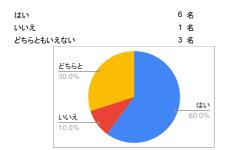
※④に関して改善目標、工夫している点など

# ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※⑤に関して改善目標、工夫している点など











# ⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

いいえ			0 名	
どちらともいえない			0 名	

はい

※⑧に関して改善目標、工夫している点など

定期的に研修の機会があり、自発的に研修に参加しているスタッフもいます。

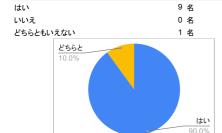
# ⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

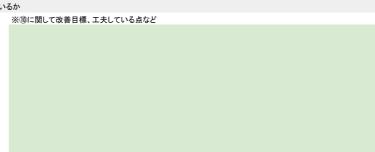
はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名 ※⑨に関して改善目標、工夫している点など



各お子さんのケース会議を行い、現状に合った支援が出来るようにスタッフ間で共有いしています。

# ⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか





# ⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか

はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※⑪に関して改善目標、工夫している点など

プログラム作成のチームがあり多くのスタッフが参加してプログラムを作成しています。

# ②活動プログラムが固定化しないよう工夫しているかはいり名いいえひ名どちらともいえない1名

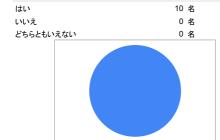


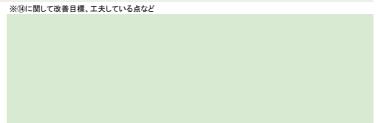




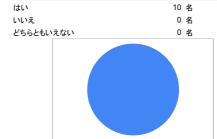


# (4)子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか



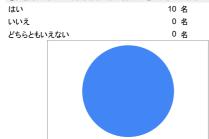


# ⑤支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

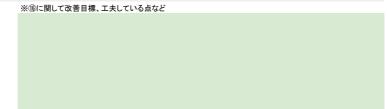




# ⑥支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

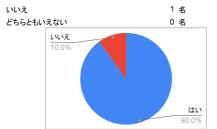


はい



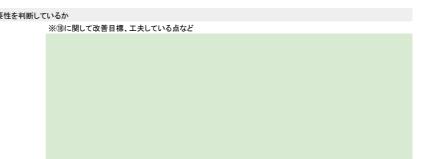
# ⑪日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

9 名

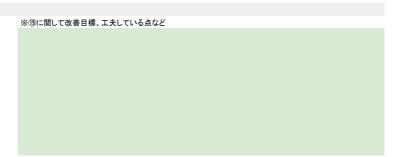


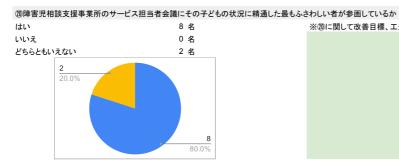
※⑪に関して改善目標、工夫している点など

# (8) 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか はい 10 名 いいえ 0 名 0 名 どちらともいえない

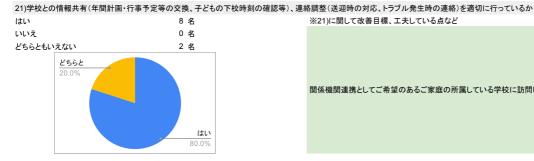










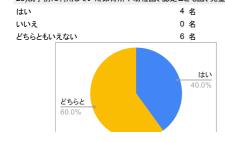


関係機関連携としてご希望のあるご家庭の所属している学校に訪問し、支援についての会議を行っています。

※21)に関して改善目標、工夫している点など

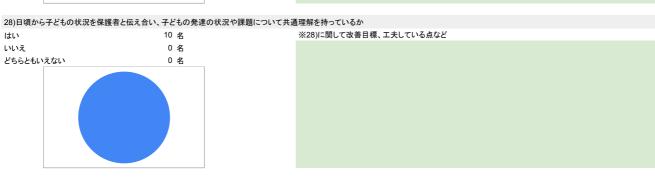


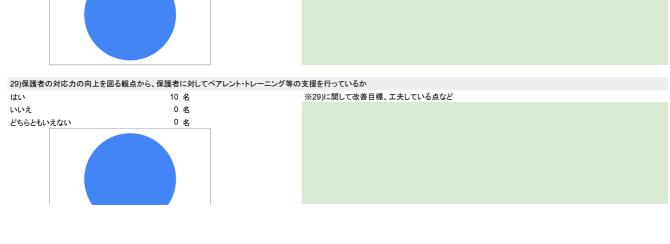




23) 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか ※23)に関して改善目標、工夫している点など

# 24)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか 8 名 ※24)に関して改善目標、工夫している点など はい 0 名 いいえ どちらともいえない 2 名 どちらと 25)児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか はい 7 名 ※25)に関して改善目標、工夫している点など 0 名 いいえ どちらともいえない 3 名 はい 26)放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか はい 0 名 ※26)に関して改善目標、工夫している点など いいえ 4 名 どちらともいえない 6 名 いいえ <u>どちらと</u> 60.0% 27)(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか はい 4 名 ※27)に関して改善目標、工夫している点など 1 名 いいえ どちらともいえない 5 名 40.0% 5 50.0%







いいえ 0 名 0 名 どちらともいえない

※30)に関して改善目標、工夫している点など

# 31)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

はい 10 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 0 名 ※31)に関して改善目標、工夫している点など

# 32)父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

9 名

はい 5 名 いいえ 1 名 4 名 どちらともいえない どちらと はい いいえ

※32)に関して改善目標、工夫している点など

# 33)子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

いいえ 0 名 どちらともいえない 1 名 どちらと はい

はい

はい

※33)に関して改善目標、工夫している点など

# 34)定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

9 名

いいえ 0 名 どちらともいえない 1 名 どちらと はい ※34)に関して改善目標、工夫している点など

# 35)個人情報に十分注意しているか

10 名 はい いいえ 0 名 どちらともいえない



※35)に関して改善目標、工夫している点など

# 36)障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

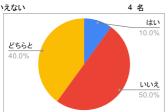
はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※36)に関して改善目標、工夫している点など

# 37)事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

はい 1名 いいえ 5名 どちらともいえない 4名



※37)に関して改善目標、工夫している点など

# 38)緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※38)に関して改善目標、工夫している点など

# 39)非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

はい 10 名 いいえ 0 名 どちらともいえない 0 名



※39)に関して改善目標、工夫している点など

# 40)虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい 10名 いいえ 0名 どちらともいえない 0名



※40)に関して改善目標、工夫している点など

41)どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

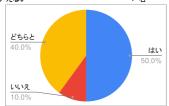
はい 9名 いいえ 0名 どちらともいえない 1名 ※41)に関して改善目標、工夫している点など





# 42)食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

はい 5 名 いいえ 1 名 どちらともいえない 4 名



※42)に関して改善目標、工夫している点など

# 43)ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい 10 名 0 名 いいえ どちらともいえない 0 名



※43)に関して改善目標、工夫している点など

# 3. 事業所考察

スタッフ全員(10名、回答率100%)から回答があり、事業所の運営状況に関する共通認識や改善点について貴重な情報を得ることができました。

「はい」が100%と高評価であった項目は、③パリアフリー化の配慮、⑨アセスメントと個別支援計画の作成、⑭個別・集団活動の組み合わせ、⑪支援開始前の職員間での打ち合わせ、⑪支援終了後の振り返り、⑩定期的なモニタリング、⑧研修機会の確保、⑩子どもの状況に関する共通理解、鄧ペアレント・トレーニング等の実施、⑩運営規程等の丁寧な説明、⑪保護者からの相談への適切な対応、鄧緊急時・防犯・感染症マニュアルの策定・周知、⑪非常災害訓練の実施、僶ヒヤリハット事例集の作成・共有、⑭虐待防止の適切な対応の計14項目であり、特に日々の安全管理や基本的な支援の流 れは定着していることが確認できました。

一方、今回の評価で顕著な課題として浮き彫りになったのは、事業所外への「情報公開」の徹底と地域・他機関との「連携」に関する項目です。 情報の周知・公開の課題:⑥自己評価結果の公開(はい6名)、⑦外部評価結果(はい2名)、⑨地域住民との交流(はい1名)など、事業所外への情報発信や、そのプロセスについてスタッフ間の認識の差や未把握な点が見られます。 連携の課題:⑥放課後児童クラブや児童館との交流(はい0名、いいえ4名、どちらともいえない6名)、⑦(地域自立支援)協議会等への積極的な参加(はい4名、どちらともいえない5名)、③就学前事業所との連携(はい4名、どちらともいえない6名)といった地域連携や他機関との連携に、スタッフ間で温度差や未把握な点が見られます。特に放課後児童クラブ等との交流については「はい」が0名であり、地域に開かれた事業運営が不十分であるという声が強く示されました。 今後は情報共有の仕組みを見直し、全スタッフが事業所の全体像と外部との関わりを把握できる体制を構築してまいります。

【今後の対応】 本結果については、令和7年11月6日に事業所内会議に置いて共有、討議を行いました。